

研修会報告

令和 7 年 12 月 16 日
文責：佐々木克幸

研修会名 : 生物化学分析部門研修会
テーマ : 「知れば楽しくなる生化学免疫検査」
開催日時 : 令和 7 年 12 月 13 日(土) 14:00 ~ 16:10
会場 : Zoom ウェビナーを用いた Web 開催
司会 : 高橋瑞恵、齊藤優果
生涯教育点数 : 専門教科 20 点
参加者 : 会員参加者 31 名 賛助会員 0 名 非会員 0 名
合計 31 名

【プログラム】

症例検討

「肝機能障害症例」 仙台オープン病院 診療支援室 臨床検査室 鎌田将矢 技師

「腎機能障害症例」 東北医科薬科大学病院 検査部 早坂美空 技師

基調講演

「宮城県における生物化学分析部門の学会発表の現状」

講師 : 東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門 播磨晋太郎 技師

特別講演

「生化学免疫検査室でできるスキルアップ 研究・学会発表の進め方」

講師 : 鳥取大学医学部附属病院 検査部 仲田夢人 技師

【内容】

「知れば楽しくなる生化学免疫検査」と題し、研修会を企画した。症例検討を通して日常業務で求められる検査値を読む力を、そして研究や学会発表を目指した一歩進んだ生化学免疫検査の面白さを知ってもらうことで、自身のスキルアップに繋げてもらうことを目的とした。

症例検討の肝機能障害症例では、膵頭部癌による胆管閉塞によって引き起こされた肝細胞障害、胆管閉塞に対する治療により急性膵炎を発症した症例であった。血液検査で変動する検査値を中心に解説いただき、更に胆管や膵管の状態を観察する内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査についても詳しく説明いただいた。

腎機能障害症例では、2型糖尿病が進行、糖尿病性腎症を発症した症例であった。糖尿病診断に必要な血液検査に加え、腎障害を反映する検査値、特に尿中アルブミンの大切さを詳しく解説いただいた。治療薬変更による検査値の変動を時系列で説明いただき、臨床における検査の大切さを改めて感じることが出来た。

基調講演では生物化学分析部門の学会発表の現状を医学検査学会の情報を中心に報告い

ただいた。近年、全国、支部、みやぎ医学検査学会全てにおいて、当分野からの発表数は少なく、発表するきっかけとして、みやぎ医学検査学会を活用してほしいと紹介があった。

特別講演では鳥取大学医学附属病院検査部の仲田夢人技師に、研究や学会発表の進め方について講演いただいた。自身の経験をもとに、きっかけや繋がりが業務や研究活動のモチベーション維持に大切であることを現場目線で紹介していただき、とても刺激となる内容であった。研究テーマの見つけ方や進め方、更にスライド作成のポイントなど、これから研究を進めてみたいと思っている方へ、参考となる内容が盛り沢山の講演であった。

今回の研修会を通して、生物化学分野の面白さを感じ、自身のスキルアップに役立っていただければ幸いである。